

磐城時報

日九十

印刷所 田田弘成
印刷所 加納活版所
発行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金貳圓
廣告料 一行十二字 計五十五錢
日刊 日曜日 日曜日 日曜日

舊盆を控えて

便利な小口貸付

無擔保で好い

七十七銀行平支店では不時の現金入り用に際し擔保物件が無い處から銀行其他金融業者から容易に融資を仰ぐ事の出来ぬ階級の爲今回極めて簡便な「小口金融」を開始し時恰も諸事決濟期の舊盆に直而して各方面から非常な歡迎を受けてゐる

右は従來行はれ來つた所謂低利資金の如く手續きの煩瑣と急場の間に合はぬ爲徒らに掛ける弊ばかり大きくその辦實際の利用價值が極めて少なかつた其れとは異り小商工業者並に倅給生活者が二人の保證人を立てる事により

神谷農試分場で

南瓜の優良種發見

縣下全般に交付

神谷村の農事試験分場で二ヶ年間に亘り苦心研究の結果今年に於て全國稀に見る「早生種小南瓜」の新種子を得たので明年から之を全縣下に交付し中央市場に出荷せしめる方針である、同分場では會津早生種小

南瓜が頗る美味であるが光澤がないため中央で歡迎されなかつたが齋藤場長、矢ヶ崎技手は品種改良による福島縣特産小南瓜の東京進出に手を染め先づ一昨年來全國各地から四十餘種の早生種小南瓜の種子を取寄せ之に對轉の準備中である

湯本復湯問題

町民大會

湯本町温泉復湯問題を中心として町民大會が、町長反對派では町當局が、町長反對派では町當局が、町長反對派では町當局が

鎌田町の住民

早くも逃げ仕度

國道移轉で悲鳴

平町と隣接する鎌田村をつなぐ新國道開鑿は既報の如く明後四月迄に完成の豫定で内務省竹田技手監督で工事を進めてゐるが之が開通すれば現在の道路並に木橋は國道でなくなるため平、神谷兩町村では木橋の維持並に鎌田附近の繁榮策につき協議中である

四倉町で

素人演劇

四倉町天狗連主催の納涼演藝大會は明十九日午後七時夜練習を行なつてゐるが地元の素人演劇者を集めて

一徳會社の被害

三万圓に達す

取調終り送局

慶報一平署で檢舉した日掛怖させたが町當局が全町に貯金詐欺の白石隆男の二の互つて豫防注射を督勵大童被害調査は當地刑事部長がとなつて防撲に努めた結果一ヶ月餘に亘り調査中の處その後漸やく下火となり昭和七年仙臺市に設立した八日現在では十四名に半減ニシテ貯金で八千圓を踏踏終熄に近ぢいてゐる

柴田署長の幹施で

藝妓の公休日

柴田警察署長は十八日平藝妓屋組合主人二十一名を田町藝妓街古所に集め舊盆を差控えて藝妓が料理屋に對し贈答品の苦心に憂き身をやつしてゐる状態に同情をよつして之を禁止するやう厳命した、尚ほ一ヶ月二日間位公休の意で藝妓活動を寫真見物程度の慰安を興へるやう懇談し主人も諒解した

和泉屋菓子店の番頭

夜ばいひで檢擧

數回に亘つて未遂

平町五丁目和泉屋菓子店方面で十九日平署に捕はれた雇人双葉郡廣野村大字淺見が、この男は夜這ひ常習者川菓子商信吾長男新妻行雄で十年八月も同村大字折（十八）は去る一月五日午前木宇割山野榮行商加藤さち（十八）は去る一月五日午前木宇割山野榮行商加藤さち

小瀧嶺泉で

客に奉仕

玉川村小瀧嶺泉の湯は此種鐵道省の指定旅館になつたが之を紀念とし奉仕の意で乗合、貸切自動車の無料サービスを行ふ事となつた

チブス終熄

去月中旬以來猖獗を極めた勿來町のチブスは一時隔離者三十名に上り全町民を脅

妻から搜索願

置き去られた

湯本町三國理髮業星正志（三）は十一日午後五時頃商賣道具一切を賣り拂つて三百圓を持ち四ツの子供を連れて行術を師ましたので十八日妻タマから署に搜索方を願ひ出でた、原因今年四月頃二本松の野池眼科に入院中知り合つた女との關係と借財を苦にしたらしい

十九娘家出

平町仲町二一芳太郎長女佐川一子（十九）さんは昨年十月家出行術不明になつて居たが最近東京新宿局の消印ある手紙が實家に届いたの但しこれは五人以上で二十八日父から搜索方を願ひ出でた

